



「わたしの魂は主をあがめ」

ルカ福音書1…47～56

牧師 安藤 脩

「今日もまた、いたく優れる御心の、敬愛する先生が、獄中で毎日となえていた祈り・歌であります。神様が自分の思いを超えて、更に優った業を、今日も成してくださるとの平安、確信が主への讃歌となつていることが伝わってきます。今日の聖書「マリアの讃歌」を読んでいる、この祈りが心にわき出てきたのです。それはきつと、この二つの祈りに、試験を讃歌へと変えてゆく同じ信仰を見ながらでありましょう。

私はイスラエル旅行の時、ザカリヤの家だったという教会に行きました。その教会にはこの讃歌マグニフィカートが、世界各国の言語で記されて飾られています。 「マグニ」とは拡大する、「フィカート」は形成するという意味があるので、私流に訳せば「更に大きなことを成す」

神を崇めている讃歌と言えるでしょう。

ナザレという寒村に住む一人の乙女・マリアは婚約という最も喜びに溢れる時期を過ごしていました。でも、未だ婚約者ヨセフとの間に男女の契りも無いのに、身重になることを告げられたのです。現代の日本なら、シングルマザーとして話題にもならないかもしれませんが、二千年前のイスラエルでは、これは死刑になる大問題でした。しかしマリアは「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。」(一:35)と言う天使の御告げを受け入れたのです。ここに、マリアの信仰があります。神様は私の考え計画よりも、更に優った計画を持つておられる。ヨセフとの婚約解消、いや、死刑となるかもしれない。しかし、神は愛なるお方ゆえ、私に最善を成してくださるにちがいないと信じたのです。試験も覚悟の上で「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を

2014年冬号

日本キリスト教団
横浜岡村教会
〒235-0021
横浜市磯子区
岡村 4-25-39
TEL045(751)3917
牧師 安藤 脩

喜びたたえます。」(一:47)と主を讃美し祈ったのです。「今から後、いつの世の人にも、わたしを幸いな者と言うでしょう。」(一:48)と、今はどうであろうと、後には幸いな者としてくださる。いや、今、神に必要とされ、用いられること自身、幸いなことであるとマリアは受け止めたのです。その信仰通り、二千年経た今、マリアは救い主の母として、世界中で最も愛し慕われている女性であることは確かです。

そのマリアの讃歌は単に美しいだけではありません。人の生き様を変えてゆく力を宿しています。「主はその腕で力を振るい、思いつく者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返され」(一:51～53)るのが救い主の到来です。おごり高ぶることが、罪として最後に残るものと言われています。それは行為の更に奥底にある罪です。救い主はその人の心を変革するのです。

救い主のもたらす神の国では、すべての立場が逆転する。神の前では皆等しく、愛のみが唯一の律法となる。その救い主の誕生を、私も「わたしの魂は主をあがめ」と信仰をもつて歌います。

証し

神様の見えぬ御手に 導かれて

関口 勢津子

私とキリスト教の出会い、親の勧めで中高一貫のミッションスクールに入学した時でした。以来6年間毎朝礼拝があり聖書の授業もあり、また土曜、日曜が休みでしたので、日曜日に教会に行くのが一応義務になっていました。友達と一緒に色々な教会に行きましたが、最後に落ち着いたのが清水ヶ丘教会でした。そして高校生活最後のクリスマスに、故倉持芳雄牧師より洗礼を受けました。色々な積み重ねがあつての受洗でしたが、今思いますと、ギリギリのところ、神様が手を差し伸べ、引き上げて下さったように思います。

卒業後どうしてもキリスト教に関係した仕事に就きたく、倉持先生の紹介で関東学院大学宗教主事室の事務職に就く事ができ、自分の望みが叶えられたのです。それから4年程キリスト教一色の恵まれた環境で仕事をさせて頂きましたが、自分の信仰はと言いますと幼いままの状態だったと思います。その間、岡村教会員の夫と出会い結婚、二児を授かり岡村教

会に通っていましたが、夫の転勤で福島県に住む事になりました。慣れない場所での生活で目の前の状況をこなすのが精一杯の毎日と、主人の仕事が忙しいせいもあつて、教会には殆どいけない状況が8年近く続きました。そして横浜へ戻る事になり家を探したのですが、場所や予算の関係で決めかねていたところ、場所的にとても便利な所が見つかりました。予算より大幅にオーバーでしたので躊躇しましたが、主人の背中を押して思い切つて決断したのが今の住まいです。この住まいがきっかけとなり、岡村教会も近かつた事もあり、再び教会へ通い始める事が出来たのです。神様は学生の時に私を捉えて下さり、離れようとしても見えぬ御手をもつて、再び呼び寄せて下さつたのだと思ひ感謝でした。

その後、私達に大きな試練が与えられました。主人が病に倒れたのです。本当にショックでした。「神様どうぞ助けてください！」と祈りましたが、寝たきりで食べては吐いてしまう状態で、次から次へと不安が湧き上がり、絶望的な気持ちに陥りました。そんな時、葉に書かれている聖句が目に入りました。「わたしは主をたたえます。主は私の思いを励まし、わたしの心を夜ごとに諭してください」

います。わたしは絶えず主に相對しています。主は右にいまし、わたしは揺らぐことがありません」(詩編16:7-8)このみ言葉に「そうなんだ！自分の思いを全て委ね、折れば神様は受け止めて下さるのだ！」と心の中で叫び、神様が共にいて下さる事が実感できたのです。そして自分だけではなく、皆様のお祈りに力を得て無事に手術を終え、6ヶ月後退院出来たのです。本当に言葉に表せないほどの感謝でした。こうして神様から多くの恵みを受けながら、神様の為に何の働きも出来ていないという思いが、ここ数年強くあります。でも、先日、藤巻充牧師のコリント人への手紙の解説書を読んでいましたら、「神は私達がイエス・キリストと一緒にいること、共にいることを喜ばれます。たとえ何が出来なくてもです。それが神の心を喜ばせるのです。」という一節がありました。この一節がまるで私の応援歌のように響きました。そしてこれが神様からのメッセージだと思ひ、最期の日までも神様と共に自分なりの歩みをして行こうと、想いを新たにしました。



証し

生かされていくために

菅野 美穂



仕事でなかなか聖日礼拝を守れない私が、証をと奉仕の依頼があり、心ではなるべくなら避けたいと思いました。でも、必ず神様は、何を証すれば良いか示して下さると信じ、祈りながら、今日を迎えました。

私は今、介護の仕事をしています。初めの頃は子育てをしながら、主人の母と私の両親の介護の役に立つようにと考えていました。又、自分の都合に合わせて働ける事もあり、ホームヘルパーとして六年半働きました。そして特別養護老人ホームに十二年勤め、責任も重くなり、仕事で帰りが遅くなる日々も続きました。「神様こんなに働くつもりではありません。もっと楽に働きたい」と訴えると、神様は「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」と言われ、十分ではありませんが、一人一人に心を傾けていました。先日にも夜勤をしていた時の事です。二十時の服薬時、いつもは明るく周囲を気遣っている人が、今の自分の身体の状態、家族への不安を訴えました。私はそれに良く耳を傾けました。ある深夜眠れない

様子なので声を掛けると「手を握らせて」と、不安な様子でした。しばらく手で握り、側で過ごしました。この様に、身体的にも精神的にも色々な不安、惑いを抱えている利用者を支えることは、自分も健康でなければ勤まりません。又、私は主任としての勤めもあるので、一緒に働く職員を育成することが私の仕事でもあります。毎日、忙しくしていく中、仰ぎ見上げ、信頼する神様がいらっしやる事で、私は続けてこれたのだと思います。又、日々与えられる御言葉は、その日、本当に必要な生きた言葉として与えられることもしばしばありました。アパルムも忙しい私にとって大きな助けとなり、日々心を整える助けとなっています。足りない者ですが、神様が気付きを与えて下さる事で成長できるのだと思います。

「心をつくして主に信頼し、自分の分別には頼らず、常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道筋をまつすぐにしてくださる。」
箴言三章五〜六



安藤華舟画・字

2015年**華のしらべ**カレンダーが発売されました。ぜひご購入下さい。1部800円



表紙は桜草を描きました。ゆつくりとした時間の中で、花とおしゃべりしているような楽しいひと時でした。



いつか描きたいと思っていたら、お店でぱったり目が会ったアネモネ。口が小さい花瓶が似合う。



今年の6月。思い切つて一人で札幌に行きました。そこには美しいライラックの花が咲き乱れていました。



S教会のバザーで購入したヒイラギ。受洗した頃からの愛用口語訳聖書に乗せて。

第9回岡村バザー



主に感謝いたします。

(食べ物コーナー)

間宮



三教会交流委員会の交わりの中、清水ヶ丘教会より本格的なおでん作りを伝授して頂きました。「横浜岡村バザーのおでんはおいしい！」と言って下さるよう、毎年反省、改善し新しい思いで励んでいます。膨大な下準備には、兄弟姉妹達の

富子

バザー委員長 井上義勝

当日は雨模様の天候で、お客様が来てくれるか心配でした。朝8時30分に各売場の担当者が集まり、準備を始めると、間もなく小雨が降ってきました。その為、開始時間を30分繰り上げて開催しました。そんな状況にも関わらず、多くのお客様が来場して、各コーナーは賑わいました。昼頃には小雨も上がり、終了の合図を出すまで、お客様が途切れることは有りませんでした。アキシデントもなく、無事に終了できました。

多くの手助けがなければ成り立ちません。これからも、横浜岡村教会ならではのバザーを目ざし、共に心を一つにして行きたいです。バザーに沢山の方が来られ、横浜岡村教会を知る事ができますように。

(雑貨コーナー)

井上 鈴枝



横浜岡村教会バザーの雑貨担当となり九回目を迎えました。今年は何年も行き先の決まらなかった黒いランドセルが売れました。そのランドセルにはメモ書きが貼ってあり「入学祝いにダブってランドセルが届き、数回しか使っていない物です」と書かれていました。高価な物だと一目で分かります。そのランドセルを、お子様連れの若いご夫婦が見ていらつしやったので、声を掛けました。上のお子様は一年生で、今使っているランドセルが一部壊れてしまっているようです。お子様に背負って貰ったところ、とても嬉しそうにピョンピョンと跳ね、その姿を見て購入を決められました。献品された方の思いと、



買われて行かれたご家族の喜びを通して、今年も素晴らしい恵みを見る事ができて、主に感謝いたします。

(こどもコーナー)

安藤 善枝

子供たちへの案内での大切な事は、バザー前日の小学校前でのチラシ配布です。それに答えて新しい子供たちがたくさん来てくれました。くじコーナーでは子供たちが一杯群がって、引くたびに歓声があがります。ヨーヨー担当は中学生のSさんでヨーヨー作りも慣れたものです。やはり小さな子に人気です。クリスマスリースづくりもじっくり座り込んで作る子が多かったです。子供たちがリースに飾るのに喜びそうなものを用意しておくのが人気の秘密です。今回は奉仕者不足で一つ遊びコーナーを減らしたのですが、当日「何かやる事ありませんか」と言うて下さる方もいて、来年は継続しようと思いました。本当に楽しいひと時でした。



(やきそばコーナー)

藤山 クニエ

例年行われているバザー。売れ筋花形、いい香り焼きそば。毎年自ら希望して一緒に働いて下さる方々がおられるので、美味しく出来ます。下準備が大事で、ある教会からレシピを頂き、参考にしました。まず1回づつ焼く分を分けておくこと。キャベツは大きめざく切り。肉は下ゆでをしておく等々、隠し味に天かす、干しエビ等入ります。何よりもS兄の黙々とやりこなす姿に愛を感じます。助けて下さるI姉の妹さんの手際の良さ！又、仕事をやり終えた後の鉄板の後始末の美しさ。次に使う方の喜びが目に見えるようです。



(手作りコーナー)

関原 紀子

バザーがはじまる頃、小雨が降りだし手作りコーナーは、中での開催になりました。心配していた作品も、御協力のもと、テーブルのにきれいなほど、出品いただけました。「前回買って、重宝しています。」と云って、又買って下さる方。「良い品を、求めることができまし

た。」と大事そうに抱えている御婦人。

バザーを通して、多くの方とお話しできましたこと感謝です。作品を作ることに、喜びを感じる私は、販売することは、どちらかというところ、苦手です。一緒に手伝って下さった方が、

「この売場、少し元気がない。」と、活を入れてくれました。

神様は、力不足の者に、助け手を与えて下さり、無事終了することができました。



(喫茶コーナー)

森田 智美

私にとつては2回目のバザーで、喫茶コーナーの責任者という立場になり、はじめはどうなるものかと不安に思っていました。が、神さまの守りと、教会員の皆さんの助けにより、無事に終える事が出来感謝です。

今年は、とんかつ 美とん さくらいの堀内兄がコーヒーを実演販売して下さり大盛況でした。このコーヒーはとんかつに合うコーヒーを求め、豆の種類や煎り方等を研究され、数年かけてやっと誕生したもので、さらに豆を挽く石臼も堀内兄と同じく、マイスターの石屋さんに特

別に造って頂いたものだそうです。まさにこのコーヒーは、お客さんに最高のものを提供したいという堀内兄の努力と熱意の賜物なのです。「簡単においしく」「簡単にきれいに」など簡単に早く出来るものが今の流行ではありますが、「いいものは時間をかけないと出来ないよ」という言葉からは、周りの人々に喜んで貰うためには苦勞を惜しまない堀内兄の思いを感じました。堀内兄の姿に励まされ、周りの人々の喜びの為に、苦勞を惜しまず働きたいと思いを改にした恵みのバザーでした。



コーヒーおいしかったです！

(絵画展)

いつもは墨彩画展ですが、今年は油絵の作品も加わりとても重厚な展覧会となりました。バザーに来て下さった方々にゆつくりと絵を鑑賞して頂き感謝でした。



祝・敬老

9月14日(日) 敬老祝福式、お祝い会が持たれ、16名の方々が祝福を受けられました。その内、米寿の方が3名おられました。

礼拝後の愛餐会では、J.Cの子供や、各会の兄弟が趣向を凝らしてお祝いをしました。返礼の尺八演奏もあり、更に、安藤先生が古希のお誕生日を迎えられて、喜びを共にして感謝いたしました。



米寿を迎えて

佐藤 つる姉



つる姉を訪ねてインタビューをしました。

◎ 88歳おめでとうございます！

ありがとうございます。米寿だなんて自分もびつくりしています。私は6人兄弟の4番目。私が一番長生きよ。

◎ 今の気持ちはどうですか？

本当に嬉しいのです。今は娘の所にお世話になっていきます。本当によくしてくれてありがたいです。

◎ つるさんは、いつ洗礼受けたのですか？

40歳の時、梅沢先生からです。岡村教会に私の兄が来ていてクリスチャンでした。兄から本当の神様を信じなさいと言われて、洗礼を受けました。その時から田崎さんとは親しくしています。◎ 何をしている時が楽しいですか？

三味線が趣味よ。長い事弾いている。教室を持った事もあるのよ。

◎ 好きな讃美歌は？

「いつくしみふかき ともなるイエスは」と「主我をあいす」クリスマスには三味線で弾きたいです。

一緒に讃美してお別れました。(安藤よ)

米寿を迎えた

河野久美子姉



藤山 クニエ

この年、河野姉が米寿を迎えられました。残念ながらお祝い会に出席できず、安藤牧師が色紙を届けられました。

河野姉はこの所、随分教会生活から離れてしまい、心配し祈ってきました。電話も通じない・ファックスもエラーとなり・・・何としてもお会いしたいと思い、祈りつつ公園まで行きました。どうしたら中に入るだろうかと思っていたら、子ども3人が河野さんのマンシヨンの方へ行くのを見、神様の導きのままに一緒にマンシヨンの中へ入りました。ベルを押すと、元気な声で「ハーイ」。やっと河野さんにお会いできました。

「会いたかった、会いたかった」と喜びいっぱい笑顔でした。「安藤先生が素敵な色紙を持ってきて下さって、ありがたい、ありがたい」と言っておられました。教会に行きたいが、一歩足が出ないという事でした。優秀なお孫さんが土曜日訪ねてくれるのが一番嬉しいのと。来年には礼拝に出たいと心に決めている様子でした。

米寿を迎えて

池田 久子



88歳になる今日を振り返って思い出すことは、戦争中、空襲が激しく逃げまどう日々

の中で、自分がどこの誰とも知られず死ぬことが恐怖でした。

終戦の時は19才、私達一家は着の身着のまま焼け出され、無一物となりました。進駐軍が上陸して来るから、女、子供は逃げなさいと言われ、姉一家が会津に疎開してしまいましたので、手紙の住所を便りに横浜駅に行きました。駅は人であふれ混乱の中、列車の窓から乗込みました。降りる時は乗車券がありません。罹災者証明を見せ、駅を出ることが出来ました。一冬過ごし、その年の秋、横浜に帰りました。出征していた兄が帰り、理髪店を開く為、根岸橋近くの上町に空家を見つけ、引越しました。そこで根岸橋教会の方々の路傍伝道に接し、教会に導かれました。梅澤幸太郎牧師より洗礼を受けて神様の子供とされた喜びと感謝。今日まで聖書の御言葉に支えられ、生かされて来ました事を感謝致します。



初めての防災訓練

坂本 浩



九月二一日聖日礼拝後、岡村教会では初めての防災訓練をしました。教育部で

企画する年二回の信徒研修会は、キリストが再び来られる時に備え、信仰の成長を目的に行われています。が、今回は少々目先を変え、近い将来、大災害がこの地に起こることを想定し、その時の備えのために、防災訓練を計画しました。すべてを主に委ねる信仰は持ちつつ、皆さん、災害に対して大きな関心を持って参加されていきました。

防災の備えとしては、二〇一〇年に横浜ろばの店と連携し、防災備蓄食料等を購入し、倉庫などに保管しています。教会は日曜日が主な活動日ですが、障がい者の支援事業は週五日稼働しているのです。そのことを考慮し、避難受入対象人数を20名と想定しました。3日間何とか食せる程度の保存食と水、ほか、ガスコンロ・ラジオ・懐中電灯・保温シートを備蓄しています。また、新たな計画として、発電機の購入を検討していて、十一月に行われるバザーの売上げの一部を資金にしたいと考えています。



今回の訓練では、今年消費期限が来てしまうアルファ米と豚汁を参加者全員で食べてみました。お湯を入れて二十分間待ちあまり期待せず食べてみますと、意外にもおいしいことに驚かされました。その後、消防署員の指導による初期消火訓練を駐車場で行い、消火器の使い方を学びました。緊急時気持ちりが動転し、正しい操作ができなくなることがあるので、機会を多く持つて慣れておくことが必要なのだという事でした。

十分な備えはできないでしょうが、主の導きを得ながら、教会として隣人に何ができるのか、どんな役割を主から託されているのかなど、考えるきっかけとなりました。



12～2月 行事予定

12月

- 7日、14日 アドベント讃美礼拝
 17日 三教会統一課題祈禱会
 21日 クリスマス礼拝・祝会
 22日 横浜ろばの店クリスマス会
 24日 イヴ・キャンドル・サービス
 25日 クリスマス

1月

- 1日 元旦礼拝
 11日 鹿児島加治屋町教会奉仕(安藤師)
 菊地一男師(当教会)
 12日 南九州支部こころの友伝道
 講習会(安藤師)
 18日 成人者祝福式・受洗者感謝会
 19日～20日 マケドニア会(熱海)
 30日 藤山宅祈禱会

2月

- 7日 三教会婦人交流会(清水ヶ丘)
 8日 オープン礼拝(証し・関原紀子姉)
 信徒研修会
 10日 三教会交流委員会(清水ヶ丘)
 15日 三教会交流子ども大会(清水ヶ丘)
 18日 レントに入る
 22日 三教会交流講壇交換(石井師)
 24日～26日 ケズイック・コンベンション
 27日 藤山宅祈禱会

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)
 (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓

(ジュニアチャーチ)

「暗唱聖句大会」
 毎月第一聖日には誕生会があり、その時「暗唱聖句大会」を行っています。

Cの目標です。毎週の礼拝では中心聖句を暗唱しており、誕生会の時に、今月の聖句をもう一度暗唱し確かめます。覚え方は、みことばを短い文節に区切って紙に書き、フランネルにばらばらに置きます。一か月で4つの御ことばを覚ええますので、全部で20ピース程になります。その時は覚えたつもりでも、何章何節まで覚えるのは、並大抵ではありません。

暗唱聖句は今年のJ
 ン。下級生の方が積極的に手を挙げて前に出てきます。よく目を凝らし、沢山ある中から選んでいき、何章何節まで探します。スタッフはなかなか覚えきれず、手帳を盗み見します。頑張った子には小さなごほうびがあります。



編集後記

すっきりと、空が青く澄み渡り、心地よい風を受け、日ごとにつるべ落としの秋の日。季節は、冬の時を迎えようとしております。掲載される写真が冬号よりオールカラーに。更に紙面がより鮮やかに素晴らしくなりました。オープン礼拝、特別伝道集会、召天者記念礼拝、岡村バザー。主は祝福して下さいました。私達、霊肉とも主によって強められ、用いられ、一日一日、今、素晴らしい時を歩む事が出来ます様に。

(T・M)

集 会 案 内

12月21日(日) クリスマス礼拝
 AM10:30～正午 午後愛餐会

12月24日(水) ヤング・クリスマス
 PM4:30～5:30

キャンドル・サービス

PM7:00～8:15

子供たちによるページェント

2015年1月1日(木) 元旦礼拝
 AM10:30～正午